

SOMPOスイッチ  
NASDAQ100  
レバレッジ2.5倍

第2期（決算日 2024年4月22日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2022年5月9日から2032年5月31日まで
運用方針	<p>①スペースⅡリミテッドが発行する円建債券（以下「円建債券」といいます）を主要投資対象とし、円建債券から得られるSOMPOスイッチ戦略（NASDAQ100）<sup>※1</sup>のリターンを享受することで、信託財産の成長を目指します。</p> <p>※1 平常時は信託財産の純資産総額に対してNASDAQ100指数を2.5倍程度保有する効果により、NASDAQ市場の成長を享受します。但し、市場のダウンサイドリスクが高まったと判断した場合<sup>※2</sup>は、機動的にNASDAQ100指数のポジションを解消し、市場下落の影響を抑える運用を行います。</p> <p>※2 モルガン・スタンレーが開発した投資環境局面を判断するシグナルを用いて判定を行います。</p> <p>②円建債券の組入比率は高位を保つことを基本とします。</p>
主要投資対象	主要投資対象:スペースⅡリミテッドが発行する円建債券
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「SOMPOスイッチ NASDAQ100 レバレッジ2.5倍」は、このたび第2期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			NASDAQ100指数 (米ドルベース)		債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	中 率	期 騰 落		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2022年5月9日	10,000	—	—	10,000	—	—	10
1期(2023年4月20日)	7,871	0	△21.3	10,311	3.1	98.5	426
2期(2024年4月22日)	11,107	0	41.1	13,422	30.2	99.3	342

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 参考指数はNASDAQ100指数(米ドルベース)です。なお、各基準日の参考指数は、基準価額の算出方法に合わせて、各基準日の前日の米ドルベースの値を使用しております。また、参考指数の推移は、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

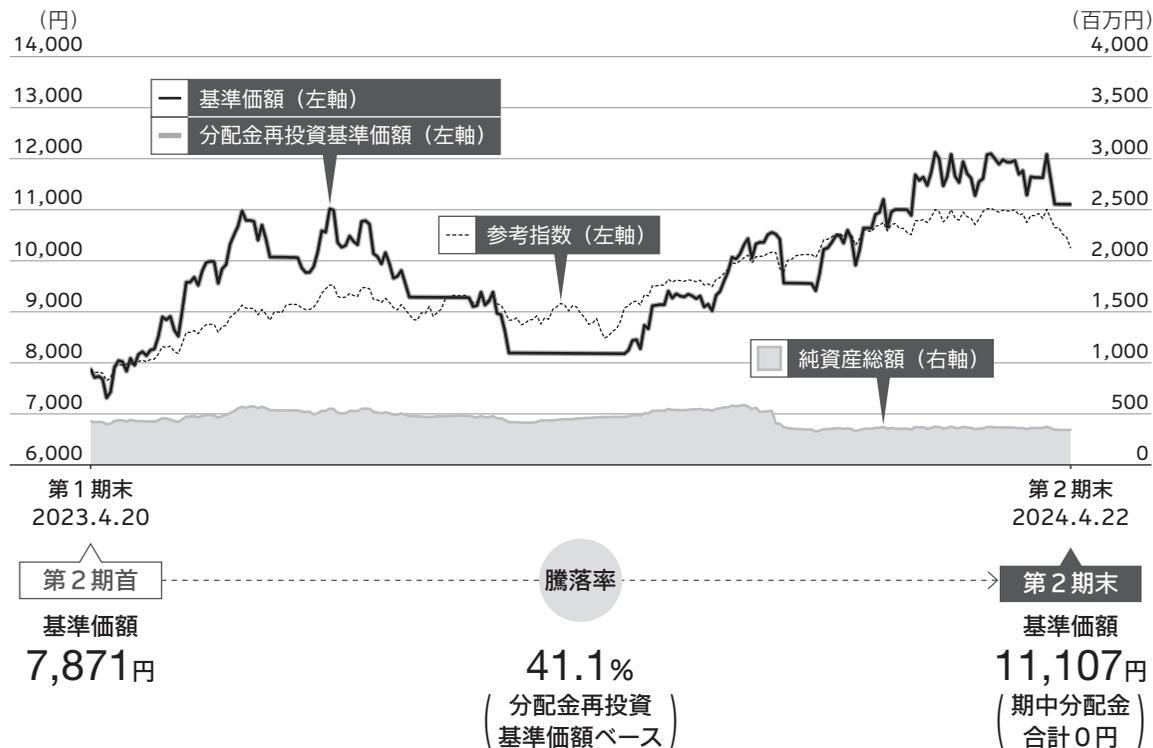
年 月 日	基準価額		NASDAQ100指数 (米ドルベース)		債 組 入 比 率	券 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首)	円	%		%		%
2023年4月20日	7,871	—	10,311	—		98.5
4月末	7,917	0.6	10,368	0.5		99.0
5月末	9,678	23.0	11,309	9.7		97.8
6月末	10,071	28.0	11,770	14.1		98.6
7月末	10,771	36.8	12,409	20.3		98.7
8月末	9,283	17.9	12,181	18.1		99.3
9月末	8,191	4.1	11,583	12.3		99.5
10月末	8,181	3.9	11,294	9.5		99.0
11月末	9,312	18.3	12,595	22.1		99.6
12月末	10,521	33.7	13,313	29.1		94.7
2024年1月末	10,432	32.5	13,768	33.5		99.3
2月末	11,477	45.8	14,082	36.6		98.8
3月末	11,934	51.6	14,381	39.5		99.9
(期末)						
2024年4月22日	11,107	41.1	13,422	30.2		99.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 参考指数はNASDAQ100指数(米ドルベース)です。なお、各基準日の参考指数は、基準価額の算出方法に合わせて、各基準日の前日の米ドルベースの値を使用しております。また、参考指数の推移は、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

## 運用経過

## ● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額および参考指数（NASDAQ100指数（米ドルベース））の推移は、2023年4月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ● 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+41.1%となりました。当期は、シグナル点灯が効果的に機能しなかった局面があったものの、シグナル消灯時にNASDAQ100指数が上昇したため、基準価額は上昇しました。

## ● 投資環境

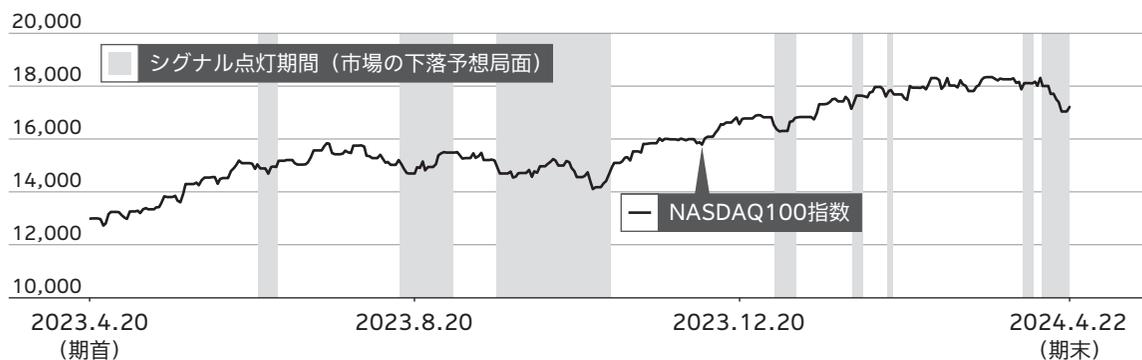
米国株式市場（NASDAQ100指数）は、上昇しました。期初から2023年7月末にかけて、インフレ鎮静化期待や今後の利上げへの過度な懸念が後退したことなどから、株式市場は上昇しました。10月末にかけて、米国の金融引き締め長期化が懸念されたこと、中東情勢の緊迫化などを受けて、下落しました。2023年の年末にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ、米国の金融引き締めの長期化懸念が和らいだことなどから、米国の金利が低下し、株式市場は上昇しました。2024年初から3月下旬にかけて、米国大型ハイテク企業や米国の半導体大手企業の好決算を受けて、AI関連銘柄、半導体関連銘柄、大型ハイテク株を中心に一段と上昇しました。期末にかけて、米景気の堅調さやインフレ圧力の根強さを背景に米国の金利が上昇したことや、中東情勢の悪化を受けて、株式市場は下落しました。

※当ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの合法性、適合性、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資の妥当性、およびNASDAQ-100 Indexの株式市場全般のパフォーマンスへの追従可能性について明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。Nasdaq社とS O M P Oアセットマネジメント株式会社の関係は、Nasdaq®、NASDAQ-100 Indexの登録商標およびNasdaq社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびにS O M P Oアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係にNasdaqが決定、構築および算出を行うNASDAQ-100 Indexの使用を許諾することに限られます。Nasdaqは、NASDAQ-100 Indexの決定、構築および算出に関し、S O M P Oアセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。Nasdaq社は、当ファンドの発行の時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算について責任を負わず、また関与していません。Nasdaq社は、当ファンドの管理、マーケティングまたは取引に関して責任を負いません。Nasdaq社は、NASDAQ-100 Indexとそれに含まれるデータの正確性および中断のない算出を保証しません。Nasdaq社は、NASDAQ-100 Indexまたはそれに含まれるデータの利用により、S O M P Oアセットマネジメント株式会社や当ファンドの保有者、その他いかなる個人または団体に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。Nasdaq社は、明示的か黙示的かを問わず何らの保証も行わず、かつ、NASDAQ-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、商品性または特定の目的もしくは使用への適合性については、いかなる保証も明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損失について、たとえ当該損失の可能性について通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

## ● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、スペースⅡリミテッドが発行する円建債券の組入比率を高位に保ちました。シグナル消灯時（平常時）はNASDAQ100指数（米ドルベース）に2.5倍程度のレバレッジをかけたリターンの獲得を目指し、シグナル点灯時（市場の下落予想局面）では機動的にNASDAQ100指数のポジションを解消し、市場下落の影響を抑えることを目的とした運用を行いました。

シグナル点灯期間とNASDAQ100指数の推移



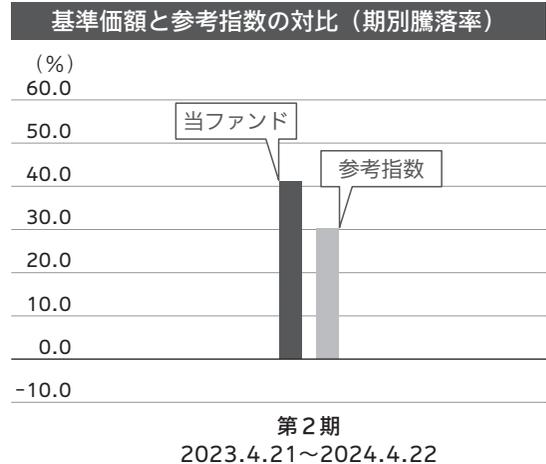
(出所：Bloomberg)

※上記のシグナル点灯期間がファンドの基準価額へ反映するのには遅れが生じます。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

なお、当期における参考指数との対比では、参考指数（NASDAQ100指数（米ドルベース））の騰落率（+30.2%）を10.9%上回りました。



## ● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第2期 2023.4.21~2024.4.22
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,301

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

## ● 今後の運用方針

引き続き、スペースIIリミテッドが発行する円建債券の組入比率を高位に保ち、円建債券から得られるSOMPOスイッチ戦略の投資効果の獲得を目指します。

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第2期 2023.4.21~2024.4.22		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	75円	0.763%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,814円です。
（投信会社）	(36)	(0.365)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.365)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	( 3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	6	0.063	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	( 5)	(0.046)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	( 1)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	( 1)	(0.006)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>81</b>	<b>0.826</b>	

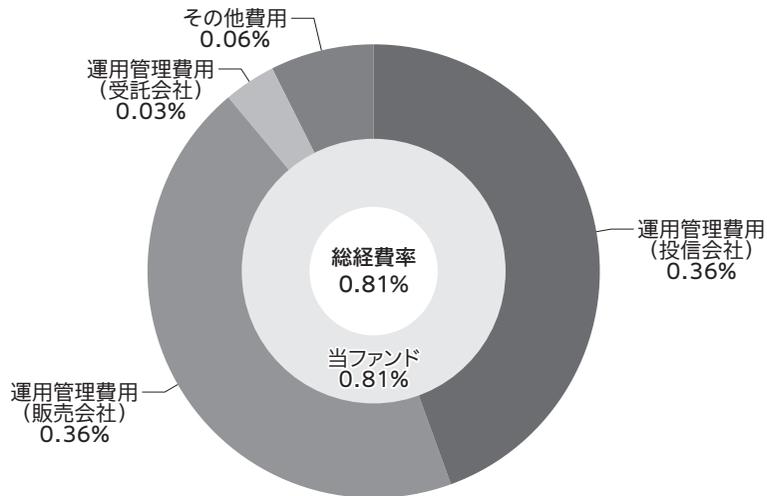
注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**(参考情報)****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.81%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月21日～2024年4月22日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	社債券（投資法人債券を含む）	180,561	425,930

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月21日～2024年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年4月21日～2024年4月22日)

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引理由
万円	万円	万円	万円	
1,000	—	—	1,000	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2024年4月22日現在)

## 国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期			末				
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
千円	千円	%	%	%	%	%		
普通社債券 (含む投資法人債券)	306,170 (306,170)	339,943 (339,943)	99.3 (99.3)	— (—)	99.3 (99.3)	— (—)	— (—)	
合 計	306,170 (306,170)	339,943 (339,943)	99.3 (99.3)	— (—)	99.3 (99.3)	— (—)	— (—)	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は非上場債で内書き。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)		%	千円	千円	
SPACE II SERIES 202201 CLASS A		0	306,170	339,943	2030/11/27
小	計		306,170	339,943	
合	計		306,170	339,943	

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

\*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 339,943	% 97.4
コール・ローン等、その他	8,956	2.6
投資信託財産総額	348,899	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	348,899,068
コール・ローン等	8,732,747
公社債(評価額)	339,943,907
未収利息	2
その他未収収益	222,412
(B) 負債	6,680,821
未払解約金	5,044,078
未払信託報酬	1,615,269
その他未払費用	21,474
(C) 純資産総額(A-B)	342,218,247
元本	308,119,666
次期繰越損益金	34,098,581
(D) 受益権総口数	308,119,666口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,107円

(注1) 信託財産に係る期首元本額542,241,317円、期中追加設定元本額420,765,689円、期中一部解約元本額654,887,340円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額 1.1107円

## ○損益の状況 (2023年4月21日～2024年4月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	60,892
受取利息	18
その他収益金	62,795
支払利息	△ 1,921
(B) 有価証券売買損益	70,674,713
売買益	124,825,840
売買損	△ 54,151,127
(C) 信託報酬等	△ 3,718,480
(D) 当期損益金(A+B+C)	67,017,125
(E) 前期繰越損益金	1,630,519
(F) 追加信託差損益金	△ 34,549,063
(配当等相当額)	( 2,265,381)
(売買損益相当額)	(△ 36,814,444)
(G) 計(D+E+F)	34,098,581
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	34,098,581
追加信託差損益金	△ 34,549,063
(配当等相当額)	( 2,265,381)
(売買損益相当額)	(△ 36,814,444)
分配準備積立金	68,647,644

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2023年4月21日～2024年4月22日)は以下の通りです。

項 目	2023年4月21日～ 2024年4月22日
a. 配当等収益(費用控除後)	57,545円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	66,958,035円
c. 信託約款に規定する収益調整金	2,265,381円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	1,632,064円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	70,913,025円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,301円
g. 分配金	0円